

- 注意 1 答えは、最も簡単な形で表し、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。  
 2 答えに根号がふくまれる場合は、根号を用いた形で表しなさい。  
 3 問題用紙は2枚あります。

1 後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～⑤の計算をしなさい。

①  $3 \times 2 - 9$

②  $\frac{3}{4}a - \frac{2}{3}a$

③  $4b + 3(2a - b)$

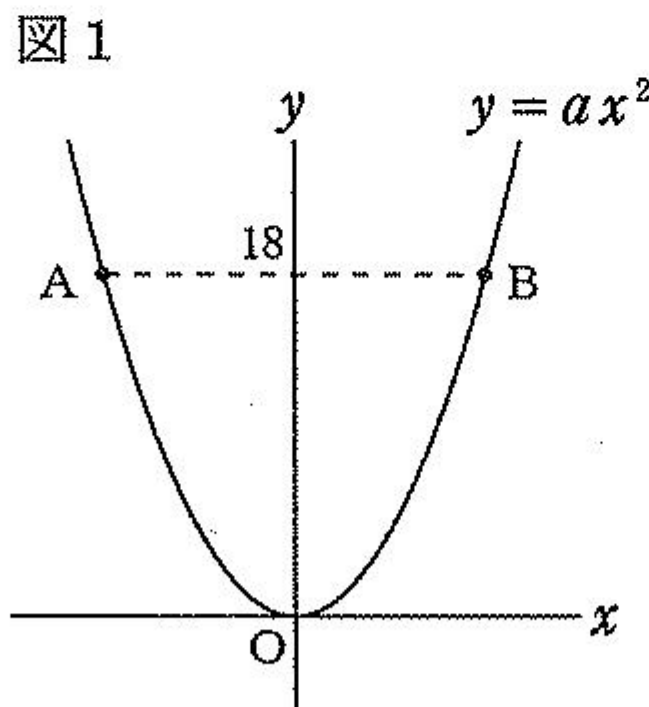
④  $8xy^2 \times x \div (-2y)^2$

⑤  $(2 - \sqrt{3})^2 + \sqrt{12}$

(2) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 2x + y = 3 \\ x - 3y = 5 \end{cases}$$

(3) 図1のように、関数  $y = ax^2$  のグラフ上に  $y$  座標が18である2点A, Bがある。AB=6のとき、 $a$ の値を求めなさい。

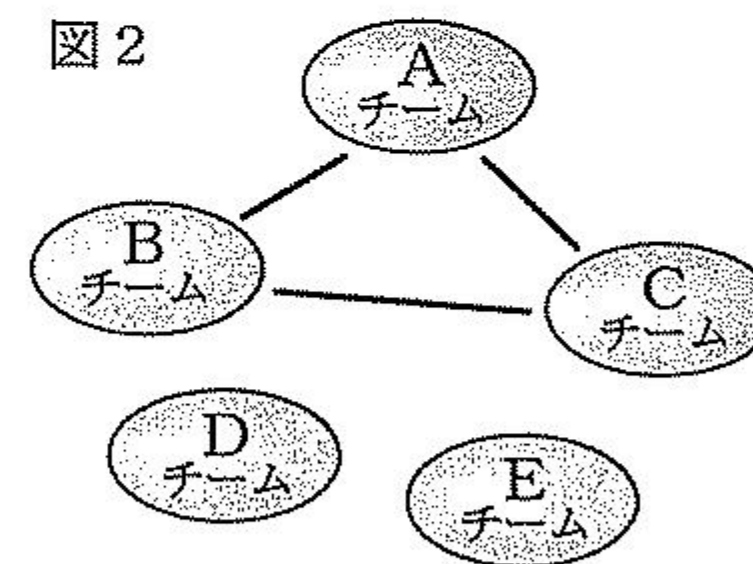


(4) ある中学校でバレーボール大会を行うことになった。どのチームも他のすべてのチームと1回ずつ対戦するとしたとき、チーム数ごとに総試合数はいくらになるかを求め、表にまとめることにした。次の①, ②の問いに答えなさい。

表

チーム数	2	3	4	5	...
総試合数	1	3	6		...

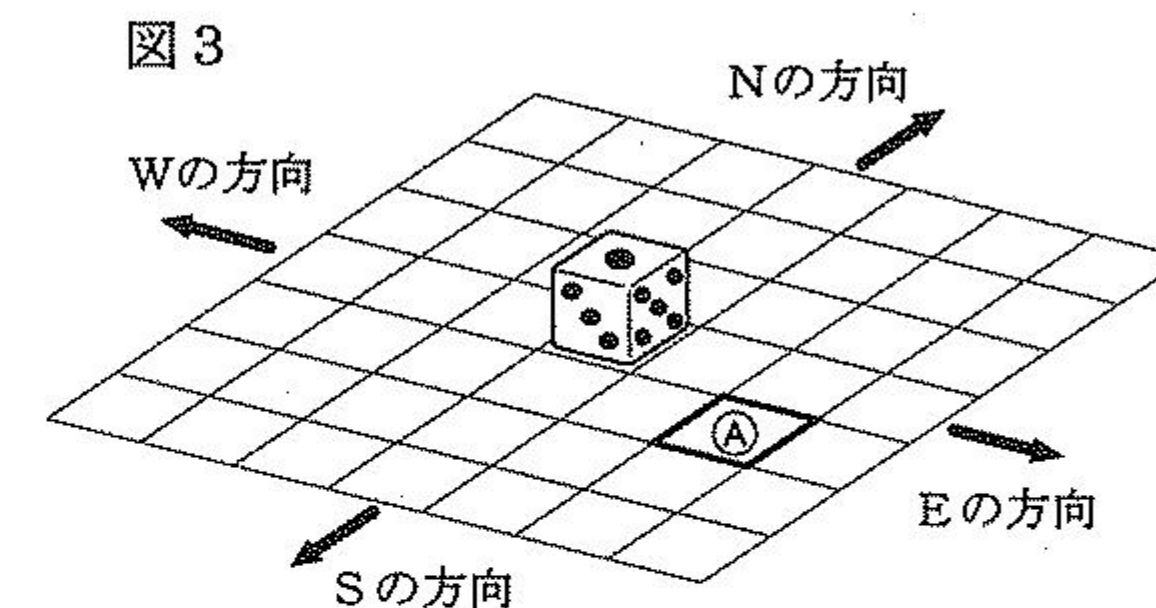
① 3チームの場合、図2のようにA, B, Cのチームが3本の線で結べるので、総試合数は3試合であることがわかった。これを参考にして、5チームの場合の総試合数を求めなさい。



②  $m$ チームの場合の総試合数を  $n$  試合としたとき、 $(m + 1)$ チームの場合の総試合数を、 $m$  と  $n$  を用いた式で表しなさい。

(5) 図3のように、さいころを方眼紙の中央に置き、N S E Wの4枚のカードを使って、下の操作①, ②を繰り返しながら、さいころを移動させた。次の①, ②の問いに答えなさい。ただし、さいころの向かい合う面の目の数の和は7とする。

① 操作①, ②を2回繰り返したとき、さいころが、もとの中央の位置へもどる確率を求めなさい。



② 操作①, ②を3回繰り返したとき、さいころがAのマス目に移動したとする。このとき、さいころの上の目の数は何になるか。考えられる目の数をすべて書きなさい。

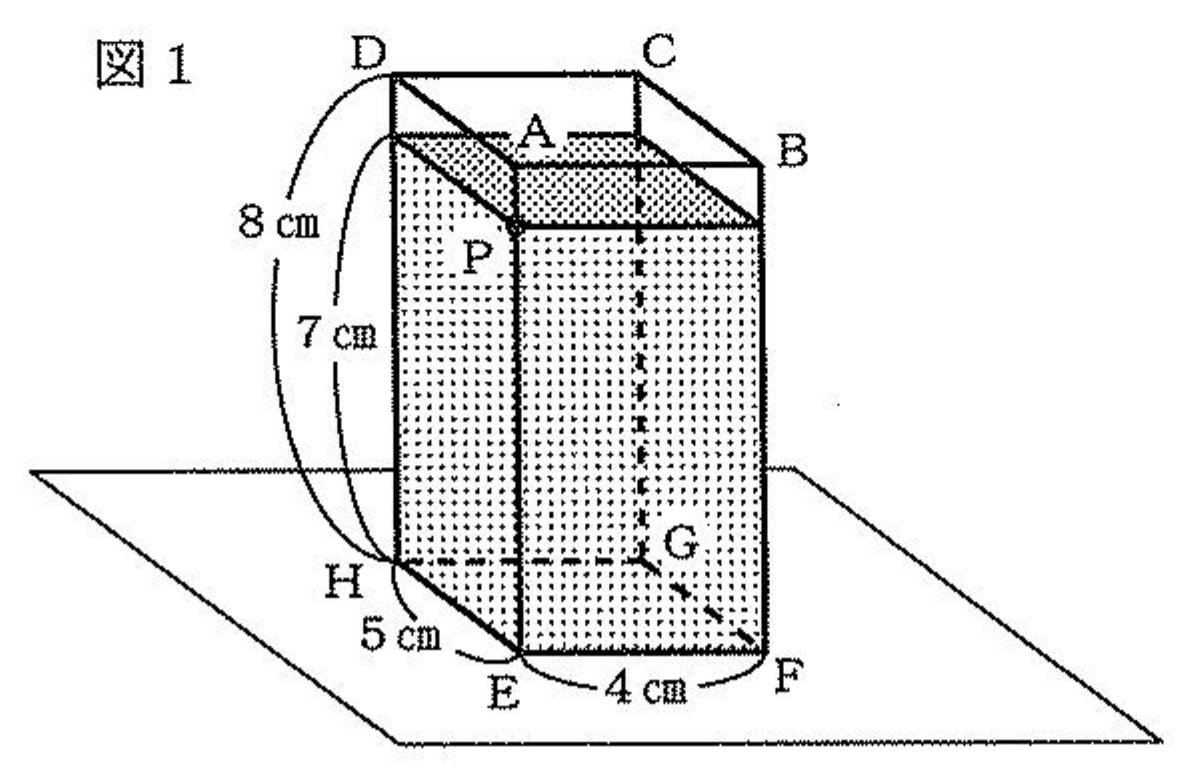
【操作】

- ① 4枚のカードをよくきって、その中から1枚を取り出す。
- ② 取り出したカードが示す方向にさいころを倒して隣のマス目に移す。

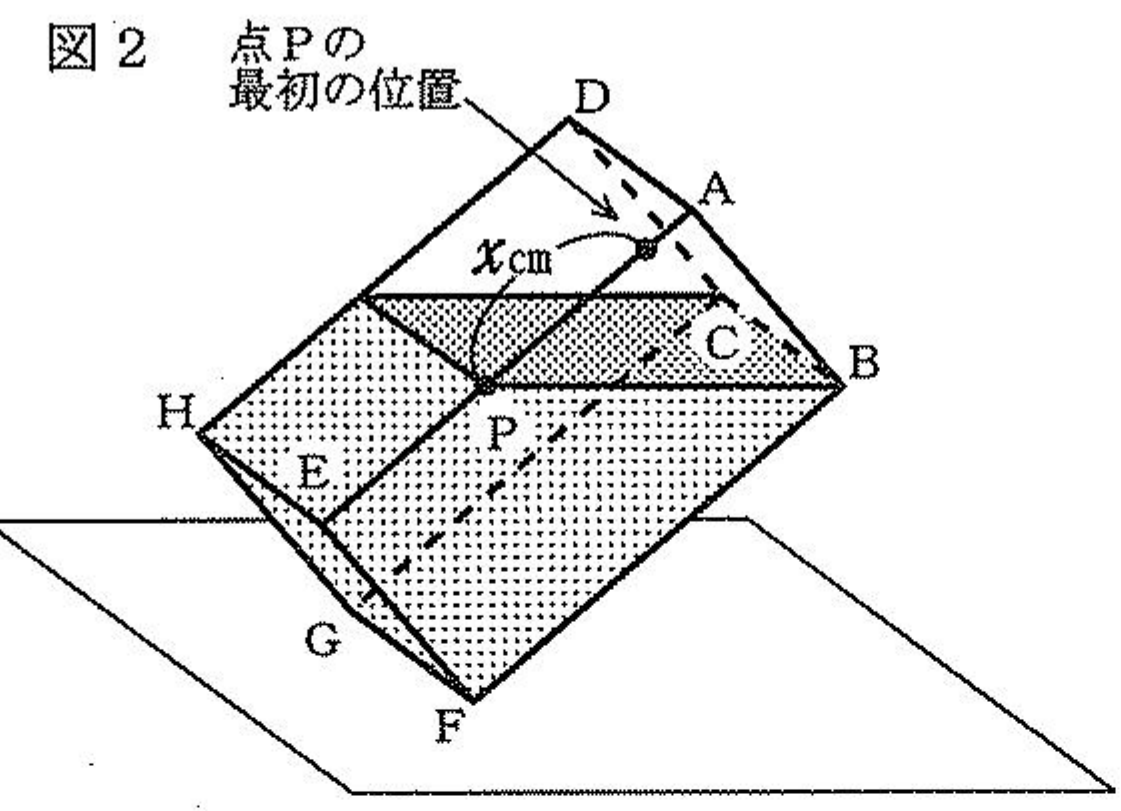


**2** 図1のように、縦5 cm、横4 cm、高さ8 cmの直方体の容器を水平な面に置き、底から7 cmの高さまで水を入れた。図1の状態から図2、図3のように、辺FGを軸に容器を徐々に傾けていくと水が流れ出した。水面が辺AEまたは辺EFと交わる点をPとし、点Pが最初の位置から動いた距離を  $x$  cm、容器から流れ出した水の体積を  $y$  cm<sup>3</sup>とする。後の(1)~(4)の問いに答えなさい。ただし、容器の厚みは考えないものとする。

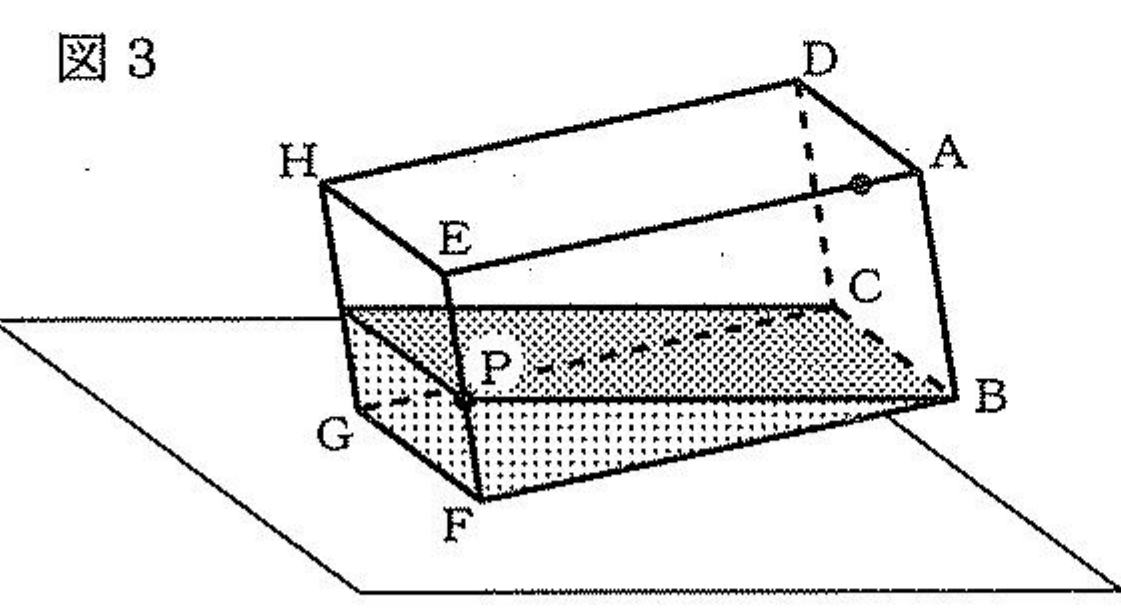
(1) 容器から水がはじめて流れ出したときのAPの長さはいくらか。求めなさい。



(2) 容器から水がはじめて流れ出したときの点Pが、Eの位置に達するまでについて、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。



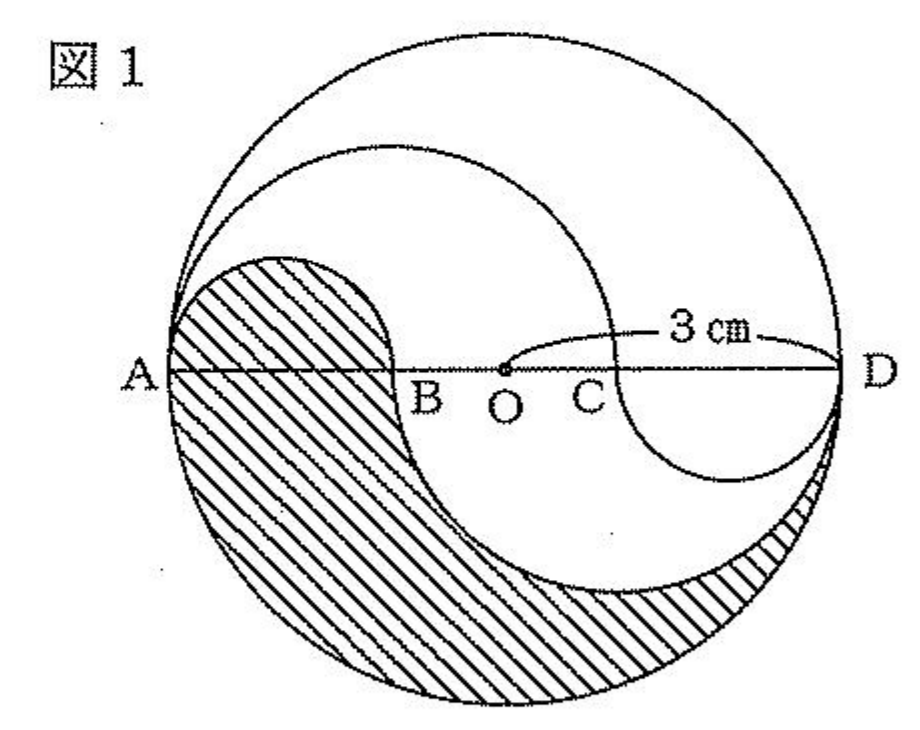
(3) 容器の中の水の体積が、はじめの水の体積のちょうど半分になったとき、 $x$ の値はいくらか。求めなさい。



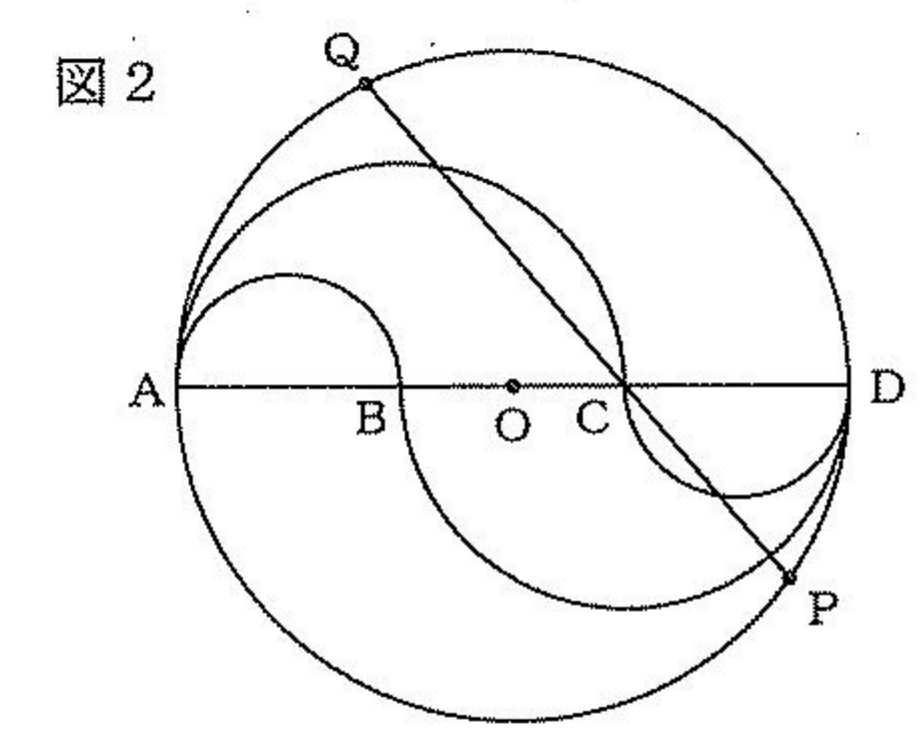
(4) 水面の面積が、 $x = 6$ のときの面積と再び等しくなるのは、 $x$ の値がいくらのときか。求めなさい。

**3** 半径3 cmの円Oの直径ADを3等分する点を、Aに近い方からB、Cとし、図1のように、AB、AC、BD、CDを直径とする半円をかく。さらに図2のように、下側の弧AD上に点Pをとり、線分PCの延長と円Oとの交点をQとする。点Pと点Qは、線分PQが常に点Cを通るように円周上を動く。円周率は $\pi$ として、後の(1)~(4)の問いに答えなさい。

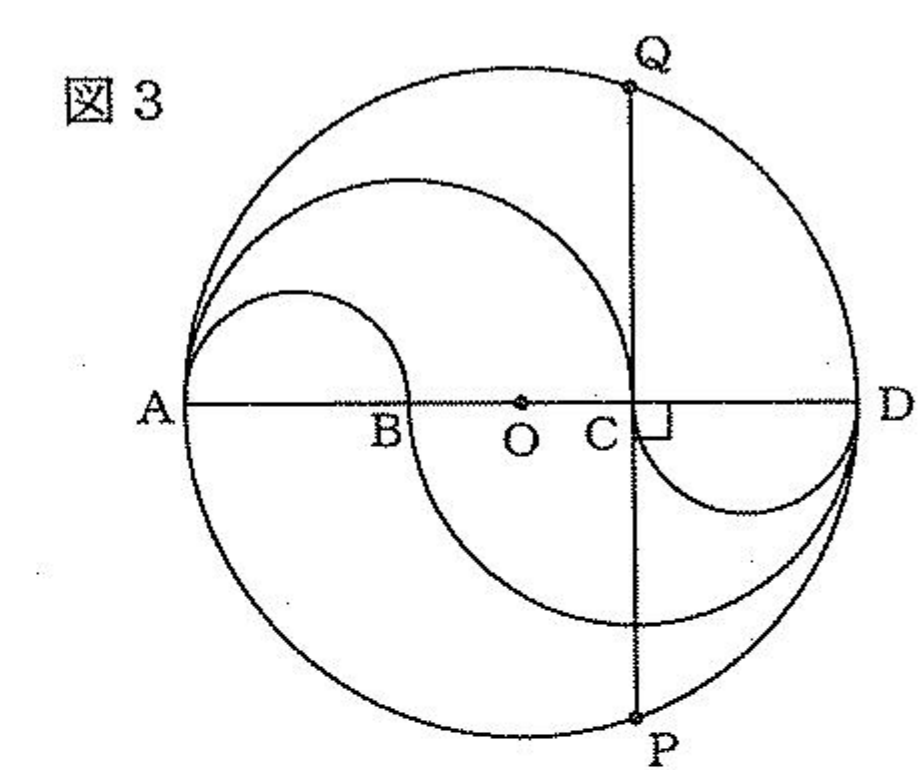
(1) 図1の斜線部分の面積を求めなさい。



(2)  $\angle DCP = 45^\circ$  になったときの点Qを、コンパスと定規を使って作図しなさい。ただし、作図に使った線は消さないこと。



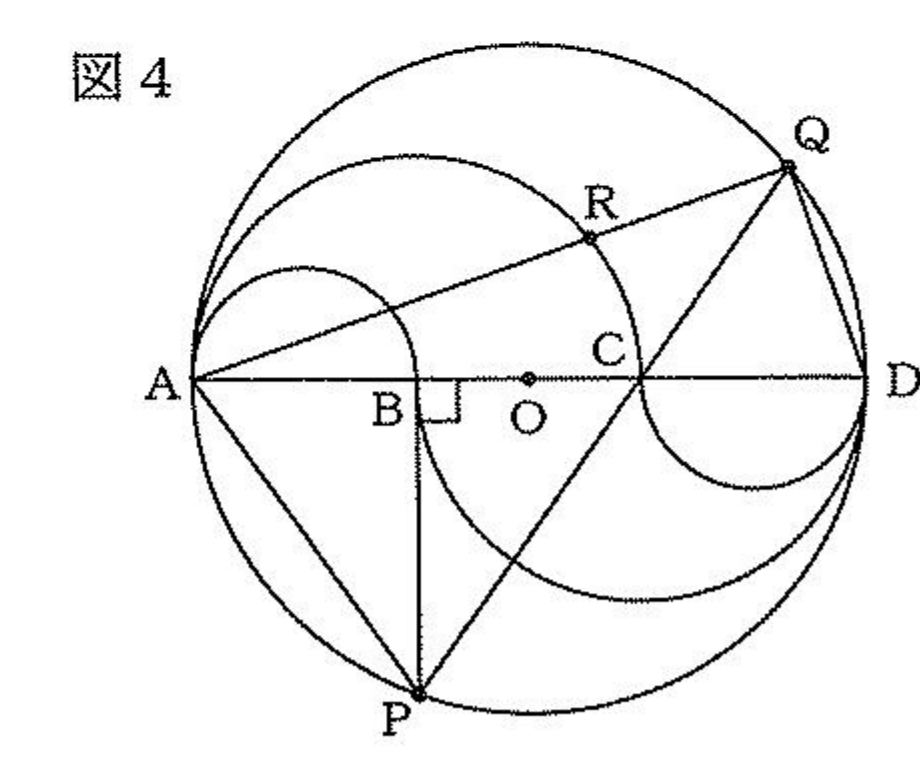
(3) 図3のように、 $\angle DCP = 90^\circ$  になったとき、線分PQの長さを求めなさい。



(4) 図4のように、 $\angle DBP = 90^\circ$  になったとき、次の①、②の問いに答えなさい。

①  $DC = DQ$ であることを証明しなさい。

② 線分AQと弧ACとの交点のうち、Aと異なる点をRとする。線分RQの長さを求めなさい。



1	(1)	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
(2)	$x =$ , $y =$		
(3)	$a =$		
(4)	①		
	②		
(5)	①		
	②		

2	(1)	cm
	(2)	
	(3)	$x =$
	(4)	$x =$

3	(1)	cm <sup>2</sup>
	(2)	
	(3)	cm
	(4)	<p>①</p> <p>【証明】</p>
	②	cm